



# 東海地震！備えは大丈夫？

蒲郡市を含む東海地方では、100〜150年の周期で、マグニチュード8クラスの大地震が起きています。前回の安政東海地震が発生してから、今年で155年。大地震はいつ起きてもおおしくありません。今号では、大地震への備えと、発生した時の対応についてご紹介します。



写真：阪神・淡路大震災による建物崩壊の様子（神戸市提供）

## 地震発生時に 注意すること

- ① まず何も持たずに身の安全を確保
- ② 火の始末をする
- ③ 非常脱出口を確保
- ④ 火が出たらすぐ消火
- ⑤ 外に逃げるときは、あわてずに
- ⑥ 狭い路地やブロック塀には近づかない
- ⑦ 山崩れ、崖崩れ、津波に注意
- ⑧ 避難は徒歩で
- ⑨ 協力しあって応急救護
- ⑩ 正しい情報を聞く

## 大地震の発生に備えて

### ■家具の転倒・落下を防止しよう

過去の大規模地震では、建物に特別な被害がないにもかかわらず、家具の転倒やガラス類の散乱によって逃げ遅れたり、室内でケガを負った方が多数いました。早めに対策を施しましょう。

### ①家具を安全な場所に配置

できるかぎり人の出入りが少ない部屋に家具をまとめる。寝室に家具を置く場合は、体の上に倒れてこないように配置する。

### ②通路や出入り口に荷物を置かない

いざというときの避難路を確保するために、玄関・通路や出入り口にはできるだけ荷物を置かない。

### ③家具の転倒や落下を防止する措置をとる

家具と壁や柱の間に空間をつくらない。また、L字型金具などを利用して転倒や落下を防ぐ。

### ■非常持出品の用意

3日以上の飲料水（1人1日3ℓ）、缶詰などの食料品や救急医薬品、衣類、通帳類、現金など。大切なものは、自分にあつた必需品を用意することです。

### ■地域の連携を大切に

大規模災害時には消防、警察は頼りになりません。いざというとき頼りになるのは、隣近所の皆さんの協力です。日ごろから近所の人たちと話し合いをしておきましょう。